



平成23年 第1回臨時会

会 議 録

(平成23年 1月20日～1月21日)

枕 崎 市 議 会

平成 23 年
枕崎市議会第1回臨時会会期及び会期日程

1 会 期 2日間（1月20日～1月21日）

2 会期日程

月 日（曜）	区 分		時 間	内 容
1月20日（木）	本会議		前 9：30	1 開 会 2 開 議 3 会議録署名議員の指名 4 会期について 5 議案上程（日程第3号－第4号） 6 提案理由の説明、質疑 7 予算特別委員会の設置及び委員の選任 8 議案委員会付託 9 散 会
		委員会	前 10：16	1 総務委員会
			後 1：10	1 予算特別委員会
		後 2：53	1 議会運営委員会	
1月21日（金）	本会議		後 2：58	1 再 開 2 議案上程（日程第1号－第2号） 3 委員長報告 4 質疑、討論、表決 5 閉 会

本 会 議 第 1 日

(平成23年1月20日)

平成23年枕崎市議会第1回臨時会

議事日程（第1号）

平成23年1月20日 午前9時30分開議

日程 番号	議案 番号	件 名	付 託 委員会
1		会議録署名議員の指名	
2		会期について	
3	1	平成22年度枕崎市一般会計補正予算（第6号）	予 特
4	2	枕崎市きめ細かな交付金基金条例の制定について	総 務

○ 本日付議された事件は議事日程（第1号）のとおり

1 本日の出席議員次のとおり

1 番 俵積田 義 信 議員
3 番 板 敷 作 廣 議員
5 番 村 上 ミ エ 議員
7 番 原 村 且 元 議員
9 番 畠 野 宏 之 議員
11番 沖 園 強 議員
13番 中 原 重 信 議員
15番 園 田 武 夫 議員
17番 立 石 幸 徳 議員

2 番 牧 信 利 議員
4 番 茅 野 勲 議員
6 番 今 門 求 議員
8 番 板 敷 重 信 議員
10番 米 倉 輝 子 議員
12番 豊 留 榮 子 議員
14番 佐 藤 公 建 議員
16番 新屋敷 幸 隆 議員
18番 上 釜 い ほ 議員

1 本日の書記次のとおり

久木田 敏 事務局長
橋之口 寛 書記
宮 崎 元 気 書記

俵積田 光 昭 書記
平 田 寿 一 書記

1 地方自治法第121条の規定による出席者次のとおり

神 園 征 市長
永 留 秀 一 総務課長
南 田 敏 朗 水産商工課長
今給黎 力 財政課長
松野下 祥 一 建設課長
山 口 英 夫 教育長
天 達 章 吾 文化課長
田野尻 武 志 監査委員
籠 原 均 会計管理者兼会計課長

地頭所 恵 副市長
山 口 英 雄 企画調整課長
今給黎 和 男 健康課長
白 澤 芳 輝 福祉課長
俵積田 清 文 財政課参事兼財産管理係長
三 島 洋 台 教育委員会総務課長
春 田 浩 志 保健体育課長
四 元 幸 一 監査委員事務局長
東中川 徹 行政係長

午前9時30分 開議

○**依積田義信議長** 平成23年第1回臨時会が本日招集されましたが、出席議員18人で定足数に達し、議会は成立いたしました。

よって、開会いたします。

本日の議事日程は、あらかじめ配付いたしてありますので、御了承願います。

これから、議事日程に従い会議を開きます。

日程第1号会議録署名議員の指名であります。本臨時会の会議録署名議員として、8番板敷重信議員、11番沖園強議員を指名いたします。

次に、日程第2号会期についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日から1月21日までの2日間にしてはと思っておりますが、御異議ありませんか。

[「異議なし」と言う者あり]

○**依積田義信議長** 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

なお、会期中の日程は、お手元の会期日程によりますので、御了承願います。

次に、日程第3号及び第4号の2件を一括議題といたします。

市長提出にかかわる案件について、市長に提案理由の説明を求めます。

[神園征市長 登壇]

○**神園征市長** 提案理由の説明を申し上げます。

今議会に提案しようとする案件は、補正予算1件、条例1件の計2件であります。

まず、議案第1号平成22年度枕崎市一般会計補正予算（第6号）について申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ8,370万円を追加し、予算総額を105億3,680万円にしようとするものです。

繰越明許費は、きめ細かな交付金事業として消防団詰所改修事業ほか4事業、及び住民生活に光をそそぐ交付金事業として福祉作業所新設事業の合わせて6事業を平成23年度に繰り越して使用するものです。

補正予算の内容としましては、平成22年度国の一次補正によるきめ細かな交付金を活用した、きめ細かな交付金基金、消防団詰所改修事業、小学校屋内運動場改修事業、小中学校施設耐震補強計画等実施事業、総合体育館改修事業及び住民生活に光をそそぐ交付金を活用した、DV対策・自殺予防啓発事業、福祉作業所新設事業、消費者被害防止啓発事業、市立図書館図書購入事業をお願いしてあります。

なお、国から示された本市の交付限度額見込額は、きめ細かな交付金が5,231万1,000円、住民生活に光をそそぐ交付金が一次配分として1,020万円の合わせて6,251万1,000円となっております。

また、住民生活に光をそそぐ交付金については、国の予算計上額1,000億円の2分の1の500億円が一次配分されておりますが、残り2分の1の500億円の二次配分については、実施計画に掲載された合計額が一次配分を超える地方公共団体で、交付金の趣旨に沿った効果が高いと認められる事業を実施しようとする地方公共団体に配分するということから、本市の事業規模としては、一次配分額1,020万円の2倍の2,040万円を想定した予算編成となっております。

その他、主な内容につきましては、別途説明資料を添付してございますので、省略させていただきます。

次に、議案第2号枕崎市きめ細かな交付金基金条例の制定について申し上げます。

これは、平成22年10月8日に閣議決定された「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対

策」により交付されるきめ細かな交付金について、ワクチン接種事業等、子どもを産み育てやすい環境の構築を目的とした活用を図るため、その一部を基金として積み立てるものです。

以上、主な点のみ申し上げましたが、よろしく御審議くださるようお願い申し上げまして、提案理由の説明を終わります。

○**依積田義信議長** ただいまの提案理由に対し、質疑はありませんか。

○**16番新屋敷幸隆議員** ただいま市長から説明がありましたけど、中央分団詰所の改修ということですね、具体的にどのような改修をなさるのか。

また、小学校・中学校の耐震診断ということですね、どこが対象になるのか、あと、そういう耐震診断に値するいわゆる学校の校舎はあと幾ら残っているのか、その辺を私はお尋ねしたいと思います。

また、総合体育館の改修事業に対しても、どういうところを改修するのか、私は質問をいたしたいと思います。よろしくお願いします。

○**永留秀一総務課長** 中央分団詰所の改修の内容ですけれども、外壁のモルタルが剥落していて非常に危険であるということで、危険度を優先して行うわけですが、その外壁の補修とあわせて屋根の防水も行うと。雨漏り対策として屋根防水と外壁補修、この2点が主なものであります。

○**三島洋台教委総務課長** 小中学校の耐震の関係でございますけれども、今回、耐震の対象となりますのが昭和56年以前の建物ということでございまして、本市小中学校で対象となる棟数が37棟ございます。その中で、耐震性ありということで耐震診断を受けたものが24棟ございまして、残りの13棟につきまして年次的に工事を進めているところでございます。現在、工事が済んでございますのが2棟ございます。21年度から22年度にかけまして桜山小学校並びに立神小学校の耐震工事を実施しております。それと、補強の設計を現在済ましておるのが4棟でございます。今回、補正をお願いしてございまして、設計に関する委託をするのが5棟の予定でございます。それと、耐震診断部分について2棟をお願いしようとするものでございます。今回、13棟についてはすべて耐震診断まで今回の予算をお願いをしておりますので、あと工事につきましては年次的に実施をしてまいりたいというふうに考えております。以上です。

○**春田浩志保健体育課長** 今回お願いしてございまして総合体育館の改修事業でございますが、総合体育館は建設後35年が経過しておりまして、老朽化に伴い崩落の危険性の高い、まず総合体育館のひさしの補修を行うという点が1点と、もう1点は別館にあります卓球場のパラペットの補修を行うと、大きくこの2つのことについてお願いしているところでございます。

○**12番豊留榮子議員** 私はその、きめ細かな交付金事業についての1番にあります交付金の基金についてなんですけど、子宮頸がんの予防ワクチンですとか、ヒブワクチンそして小児用肺炎球菌ワクチンの接種、また妊婦健康診査事業に活用するとありますけれども、時期はいつになるんでしょうか。お尋ねします。

○**今給黎和男健康課長** 今回、基金のほうで……、実施時期ということではありますが、妊婦検診につきましては去年から実際はやっていますけれども、この基金を活用するというかたちのものは23年度予算で実施したいということで、計画をしております。

○**依積田義信議長** ほかにありませんか。

○**17番立石幸徳議員** 議案第2号の条例の関係ですね、これ総務委員会に付託されますが、基本的なことを幾らか、質疑をいたしたいと思います。今、健康課長のほうから23年度実施ということでの説明があったんですが、まず、この条例の附則ですね、平成24年3月31日限りということで、23年度限りの基金ということですね。通常、基金ということになりますと、継続的に事業実施をするための原資といいたいまいしょうか、そういうもとになる財源を確保するというのが基金の持つ意味だと思うんですが、なぜこの23年度1カ年分に対応するためにですね、基

金条例が必要なのか、この点を説明いただきたいと思います。

それから、この取り組む事業については当然、将来的にも必要性のある事業になるんですが、23年度以降、つまり24年度からの対応はどうか、あわせてお尋ねをいたします。

○山口英雄企画調整課長 まず1点目の、この基金条例の附則の関係でございますけれども、今回のこの基金につきましては、市長も提案理由で申し上げましたとおり、国から交付されますきめ細かな交付金を活用して、その交付金を平成23年度に行います妊婦、子宮頸がん等のワクチン接種等、そういった事業の本市負担分の一部に充てるということで、その財源として積み立てるものでございますけれども、交付金が22年度に交付されるために、23年度分としての財源として活用するためには一たん基金に積んで、23年度予算におきましてそれを歳入歳出予算に計上する必要がありますことから、基金として造成するものでございます。

それから、基金の廃止時期を24年3月31日限りということで、一年度限りとしておりますけれども、これにつきましてはこの基金につきましては国から都道府県に、国からの助成分として、国から県に対し同じような交付金が造成されます。で、その交付金につきましては23年度中に取り崩すことというふうにされておまして、市がその市負担分につきまして同じように財源、このきめ細かな交付金を財源として基金を造成する場合につきましても、その都道府県に造成される基金と同様の取り扱いをすることというふうにされております。そういったことから、県に造成される基金と同様に23年度中に取り崩すというふうに行っているところでございます。

○17番立石幸徳議員 答弁漏れがあるんですけどね。

○今給黎力財政課長 平成24年度以降の関係ですが、国から示されたQ & Aの中でちょっと示されておまして、24年度以降につきましては現在、予防接種のあり方につきまして、予防接種部会において議論が進められているということでございまして、今後とも本事業の実施状況等も踏まえながら、円滑に実施されるよう検討していくということでございまして、今の現時点では具体的な見通しは立っていないということで位置づけがされているようです。

○17番立石幸徳議員 そこでその、見通しの関係なんですけどね、今回、1,000万円の、ま、一般財源も出して合わせて1,000万円の基金になるんですけど、23年度中のこの、歳出の見通し、つまり1,000万円で不足した場合は、どういうふうな対応になっていくんですか。

○今給黎力財政課長 今、23年度の当初予算の査定作業をしておりますけれども、この基金を活用して残りの部分については一般財源対応というかたちになるかと思えます。

○俵積田義信議長 ほかにありませんか。

○2番牧信利議員 今、論議をされております基金関係ですね。基本的にはこれは、継続的な制度としてですよ、取り組むべきものだと思うんですが、この事業の継続については現段階でどういう考え方をもっておられるのか、お尋ねします。

それから、予算説明資料の中の2番目に、住民生活に光をそそぐ交付金事業というのがあります。そこにDV対策・自殺予防啓発事業と、こういうふうになっていますが、これの枕崎市における実態というのを現状を教えてください。

それから福祉作業所、これはどこの事業所がやって、どういう内容のものかですね。

それから4番目は、市立図書館図書購入事業として200万出されておりますが、現在の市立図書館の蔵書状況と今回のこの購入目的ですね、これを教えてください。以上であります。

○今給黎和男健康課長 この子宮頸がん等のワクチンの接種事業の関係でございますが、来年度以降の部分につきましては、先ほども財政課長のほうからありましたけれども、厚生労働省の予防接種等に関する検討委員会等で検討をしているというようなことになっておまして、現在のところ、来年度以降の国の動きということを見ていかないと、現在のところ、はっきりしたところは見えていないところであります。

○山口英雄企画調整課長 光をそそぐ交付金を使いまして、今回、DV対策・自殺予防対策とい

うことで補正予算を計上してございますけれども、これにつきましてはDV・自殺の未然防止、早期発見及び再発防止等を図るために、啓発用パンフレットを作成いたしまして全戸に配布しようと、そういった内容になっております。

○白澤芳輝福祉課長 まず最初に、枕崎市におけるDVの状況ということで、本市の家庭児童相談室のほうにおいて、DV関係の相談というのは年に4～5件ほど上がってきておりまして、昨年につきましては1件、緊急措置したという事例は発生しております。あと、福祉作業所の関係ですけれども、福祉作業所につきましては現在、立神本町のほうで福祉作業所を……があるわけですけれど、その福祉作業所がプレハブで老朽化いたしておりまして、ひさしとその建設部、建物の腐食が見られることから、今回この事業を使いまして新たな所に移転しまして新設しようとするものでございまして、作業所の部分につきましてはNPO法人に委託してその事業を行っているところでございます。

○天達章吾文化課長 市立図書館の蔵書数ですが、12月末現在で6万8,198冊ございます。予算の目的につきましては、図書館で日ごろの予算で購入がなかなか難しい、比較的高価な産業関係の図書とか全集等を考えております。

○依積田義信議長 これをもって、質疑を終結いたします。

ただいま上程中の予算関係議案につきましては、先例により、各常任委員会から4名ずつ選出された委員12名で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託して審査したいと思います、御異議ありませんか。

〔「異議あり」と言う者あり〕

○依積田義信議長 異議がありますので、起立によって決したいと思います。

予算特別委員会を設置し、その構成は各常任委員会から4名ずつ選出された委員12名とし、予算関係議案を付託することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○依積田義信議長 起立多数であります。

よって、そのように決定いたしました。

ここで予算特別委員選出のため、10分間休憩いたします。

午前9時51分 休憩

午前9時59分 再開

○依積田義信議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

先ほど設置されました、予算特別委員会の委員の選任については、牧信利議員、原村且元議員、沖園強議員、立石幸徳議員、村上ミエ議員、中原重信議員、園田武夫議員、新屋敷幸隆議員、板敷作廣議員、板敷重信議員、豊留榮子議員、佐藤公建議員を指名いたします。

ただいま上程中の案件のうち、予算関係議案を除く案件については、議事日程に記載のとおり、総務委員会に付託いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前10時00分 散会

本 会 議 第 2 日

(平成23年1月21日)

平成23年枕崎市議会第1回臨時会

議事日程（第2号）

平成23年1月21日 午後2時58分開議

日程 番号	議案 番号	件 名	付託 委員会
1	2	枕崎市きめ細かな交付金基金条例の制定について	総務
2	1	平成22年度枕崎市一般会計補正予算（第6号）	予特

○ 本日付議された事件は議事日程（第2号）のとおり

1 本日の出席議員次のとおり

1 番 俵積田 義 信 議員	2 番 牧 信 利 議員
3 番 板 敷 作 廣 議員	4 番 茅 野 勲 議員
5 番 村 上 ミ エ 議員	6 番 今 門 求 議員
7 番 原 村 且 元 議員	8 番 板 敷 重 信 議員
9 番 畠 野 宏 之 議員	10 番 米 倉 輝 子 議員
11 番 沖 園 強 議員	12 番 豊 留 榮 子 議員
13 番 中 原 重 信 議員	14 番 佐 藤 公 建 議員
15 番 園 田 武 夫 議員	16 番 新屋敷 幸 隆 議員
17 番 立 石 幸 徳 議員	18 番 上 釜 い ほ 議員

1 本日の書記次のとおり

久木田 敏 事務局長	俵積田 光 昭 書記
橋之口 寛 書記	平 田 寿 一 書記
宮 崎 元 気 書記	

1 地方自治法第121条の規定による出席者次のとおり

神 園 征 市長	地頭所 恵 副市長
永 留 秀 一 総務課長	山 口 英 雄 企画調整課長
南 田 敏 朗 水産商工課長	今給黎 和 男 健康課長
今給黎 力 財政課長	白 澤 芳 輝 福祉課長
松野下 祥 一 建設課長	俵積田 清 文 財政課参事兼財産管理係長
山 口 英 夫 教育長	三 島 洋 台 教育委員会総務課長
天 達 章 吾 文化課長	春 田 浩 志 保健体育課長
田野尻 武 志 監査委員	四 元 幸 一 監査委員事務局長
東中川 徹 行政係長	

午後2時58分 開議

○**依積田義信議長** 定刻になりましたので、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめ配付いたしてありますので、御承知おき願います。

まず、日程第1号を議題といたします。

総務委員長に報告を求めます。

[牧信利総務委員長 登壇]

○**牧信利総務委員長** ただいま議題となりました日程第1号について、総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告いたします。

日程第1号枕崎市きめ細かな交付金基金条例の制定について申し上げます。

これは平成22年10月8日に閣議決定された「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」により交付されるきめ細かな交付金について、ワクチン接種事業等子供を産み育てやすい環境の構築を目的とした活用を図るため、その一部を基金として積み立てるための条例を制定しようとするものであります。

この基金については、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチンもしくは小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業または妊婦健康診査事業の実施に要する費用のうち市が負担すべき経費に充てる場合に限り、予算の定めるところにより処分することができるということであります。

この基金の積み立て額は、交付金851万1,000円、一般財源148万9,000円、計1,000万円の額で基金を造成しようとするもので、平成24年3月31日限りであるとのことであります。

23年度の事業実施に当たっては、それぞれの対象ごとに人数を具体的に把握して、予算計上を行っていききたいとのことであります。

本件については、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。

○**依積田義信議長** ただいまの報告に対し、質疑はありますか。

質疑なしと認めます。

ただいま上程中の案件については、討論の通告もありませんので、直ちに採決いたします。

お諮りいたします。

日程第1号は、委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

[「なし」と言う者あり]

○**依積田義信議長** 御異議なしと認めます。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第2号を議題といたします。

予算特別委員長に報告を求めます。

[新屋敷幸隆予算特別委員長 登壇]

○**新屋敷幸隆予算特別委員長** ただいま議題となりました日程第2号平成22年度枕崎市一般会計補正予算（第6号）について、予算特別委員会の審査の経過並びに結果について主な点のみ御報告いたします。

本委員会は、委員長に新屋敷幸隆、副委員長に村上ミエ委員を選任いたしました。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ8,370万円を追加し、予算総額を105億3,680万円にしようとするものであります。

繰越明許費は、きめ細かな交付金事業として消防団詰所改修事業ほか4事業、及び住民生活に光をそそぐ交付金事業として福祉作業所新設事業の合わせて6事業を平成23年度に繰り越して使用するものであります。

補正予算の内容としては、平成22年度国の一次補正によるきめ細かな交付金を活用したきめ細かな交付金基金、消防団詰所改修事業、小学校屋内運動場改修事業、小中学校施設耐震補強計

画等実施事業、総合体育館改修事業及び住民生活に光をそそぐ交付金を活用したDV対策・自殺予防啓発事業、福祉作業所新設事業、消費者被害防止啓発事業、市立図書館図書購入事業であります。

以上の財源として、国庫支出金6,251万1,000円、地方交付税2,118万9,000円の増で措置したとのことであります。

また、事業選定につきましては、きめ細かな交付金事業は各種施設の老朽化に伴う緊急性の高いものを最優先に、住民生活に光をそそぐ交付金事業は、対象となる事業は、消費者行政、DV対策・自殺予防等の弱者対策・自立支援、知の地域づくりの3分野に限定されている中で、それらに対象となるものを選定したとのことであります。

まず、DV対策及び自殺予防啓発用パンフレット並びに消費者被害防止啓発用パンフレットは県や各市町村でそれぞれ取り組んでいる中で、本市としてもまだ不十分な部分もあるので、今回、啓発に力を注ぐため、各世帯に1冊ずつ配布する予定であるということです。

次に、福祉作業所新設事業につきましては、これまでの施設の老朽化等により、新しく平田町に建設・移転して、その後は市の行政財産として、NPO法人への指定管理者制度の導入により、公の施設として管理していきたいとのことであります。なお、この施設は、ことし12月ごろの完成を予定しているということです。

次に、市立図書館の図書購入につきましては、普段買えない比較的高額な図書を中心に、特色のある水産関係の専門書であるとのことであります。

次に、消防団詰所改修事業は、中央分団詰所の建物の外壁の崩落の危険性があるので、建物本体のハード面を中心に改修するというところでありますが、消防団詰所は災害に対し、十分機能することが重要であるので、今後、内部の備品等の充実についても対応していくよう要望がありました。

本件については、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。

○**依積田義信議長** ただいまの報告に対し、質疑はありますか。

質疑なしと認めます。

ただいま上程中の案件については、討論の通告もありませんので、直ちに採決いたします。お諮りいたします。

日程第2号は、委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

[「なし」と言う者あり]

○**依積田義信議長** 御異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

この際、お諮りいたします。

本臨時会において議決された案件について、字句等の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

[「なし」と言う者あり]

○**依積田義信議長** 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

これをもって、本臨時会の議事のすべてが終了いたしましたので、平成23年第1回臨時会を閉会いたします。

午後3時7分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

枕崎市議会議長 俵積田 義 信

枕崎市議会議員 板 敷 重 信

枕崎市議会議員 沖 園 強